

ノボケア[®] ニュース

NOVOCARENEWS

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社の糖尿病関連製品をご使用の皆様へ

暑い場所でのインスリン製剤の持ち歩きについて

【生活の工夫として】

インスリン製剤は凍らせたり、高温にさらされることで成分が変性し、期待される効果が得られないことがあります。

外で持ち歩かれる際には、**30℃を超えないよう**にご注意ください。

30℃を超えない保管の工夫には、以下のような方法があります

冷蔵庫で冷やした保冷剤をタオルで包みインスリン製剤と一緒に保冷バッグに入れる。

(※ 冷凍庫で冷やした保冷剤は凍結させてしまう恐れがあります)



保冷剤の用意がない場合は、冷たい飲み物のペットボトルをインスリン製剤と一緒にバッグに入れる。



ポリ袋に入れたインスリン製剤を湿らせたフェイスタオルで包み、気化熱を利用して保冷する。



ただし、これらの方法は、**どのような状況下でもインスリン製剤を30℃以下に保てるということではありません。**

直射日光には当てない、車の中など高温になるところに置かない、などの基本的な注意事項を合わせて守っていただくようお願い致します。

弊社製品のご使用でお困りなことがございましたら、こちらをご検索ください。
適正にご使用いただくための資料(ノボケアニュース)を掲載しております。

ノボケアニュース

検索



ご自宅でのインスリン製剤の保管について

使用開始前のインスリン製剤

使用開始前の各製剤は凍結を避け、冷蔵庫（2～8℃）に遮光して保管してください。

冷蔵庫保管時の注意点

インスリン製剤は一度でも凍結すると薬液が変化したり、注射器が故障することがあります。

使用開始後のインスリン製剤

インスリン製剤は使用開始後、室温（30℃以下）で保管し、各製剤の使用期限内にご使用ください。
キャップ等により遮光して保管してください。

保管の際には、注射針を取り外したうえで保管をお願いいたします。

下記の製品については追加の安定性試験を実施し、

使用開始後に室温（30℃以下）のほかに冷蔵庫（2～8℃）で保管することもできます。

※デュラブル型（カートリッジ交換型）注入器で使用している場合は、使用開始後の冷蔵庫保管はできませんのでご注意ください。

製品名（使用開始後に冷蔵庫保管も可能な製品）	開始後の使用期限と保管時の温度
フィアスプ®注 フレックスタッチ® フィアスプ®注 100単位/mL（バイアル製剤）	4週間、室温（30℃以下）のほかに 冷蔵庫（2～8℃）保管も可
ノボラピッド®注 フレックスタッチ® ノボラピッド®注 フレックスペン®	4週間、室温（30℃以下）のほかに 冷蔵庫（2～8℃）保管も可
ライゾデグ®配合注 フレックスタッチ®	4週間、室温（30℃以下）のほかに 冷蔵庫（2～8℃）保管も可
トレシーバ®注 フレックスタッチ®	8週間、室温（30℃以下）のほかに 冷蔵庫（2～8℃）保管も可
レベミル®注 フレックスペン®	6週間、室温（30℃以下）のほかに 冷蔵庫（2～8℃）保管も可
ゾルトファイ®配合注 フレックスタッチ®※ ※持効型溶解インスリンアナログ/ヒトGLP-1アナログ 配合注射液	3週間、室温（30℃以下）、あるいは4週間、室温（25℃以下） のほかに冷蔵庫（2～8℃）保管も可

注射を行う際の注意点

ご使用前に外観で異常がないかご確認ください。

注射の前には常温（15～25℃）程度の温度に戻してご使用ください。

注射前に空打ちにて異常がないことをご確認ください。

朝倉俊成, 中野玲子, 浅田真一, 和田幹子: 高温環境下でのインスリン製剤の保管に関する提案, くすりと糖尿病, 9(1), 104-113(2020).

製品に関する疑問・質問などは、弊社担当MRまたは下記のノボケア相談室にお問い合わせください。

ノボケア相談室



月曜日から金曜日
（祝日・会社休日を除く）



0120-180363



夜間及び
土日・祝日・会社休日

（注）お問い合わせ内容によっては、翌営業日に
回答させていただく場合がございます。



0120-359516